

# アカマツ

令和4年度 特別号  
11月30日

## 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

4月19日に第6学年を対象に実施されました「全国学力・学習状況調査」の結果が11月、北海道教育委員会により公表されました。新聞、テレビ、web等をご覧になった方も多くいらっしゃるかと思います。本調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることや、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てること等を目的として、毎年4月に全国の6年生を対象にして実施されています。

本年度、調査対象となった教科は「国語」「算数」「理科」の3教科で、「理科」は4年ぶりの実施となりました。いずれも、複合的に学力を調査する問題形式となっており、記述式の問題が含まれています。また、学習意欲や学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する児童質問紙調査も行われました。

今回、本校の実施結果から、現状や課題を分析しました。それを受け、今後の方策を決定しました。学校ではこの方策を進めて行き、課題の克服と子どもたちに身に付けさせたい資質・能力を育てていきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 国語 全国平均を大きく越える

- 成果が見られた点
- 課題が見られた点

○話し言葉と書き言葉の違いを理解する。

○漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く。

【言語の特徴や使い方に関する事項 知識及び技能】

○登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える。

【読むこと】

- 自分の考えを整理して記述する。 【書くこと】
- 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる。 【話すこと・聞くこと】
- 表現の効果を考える。 【読むこと】

## ↓ 今後の方策

- ◎全教科・全学年を通した「書く活動」の継続
  - ・理由や事例を明確にしながらか筋道を立てて自分の考えを書く。
  - ・作文や日記を書いたりする活動の充実。文の中で既習漢字を積極的に正しく使う。
- ◎全教科において「話す・聞く」場面の設定
  - ・話し合う内容・順序・時間配分、話し合いの目的や方向性の意識。
- ◎内容面の読み取りだけでなく、表現の工夫にも着目して読ませる。
- ◎読書習慣の定着
  - ・朝読書（木曜日）、すきま時間による読書。ストーンスープの活用。
- ◎辞典を活用した漢字・語彙の定着
  - ・国語・漢字辞典、ことわざ辞典等を活用することで、漢字の定着や語彙を増やしていけるように指導していく。
- ◎語彙力育成をめざしたドリル・ICTの活用
  - ・「主語・述語」「修飾と被修飾」などの言語事項の定着のプリントやデジタル教材「ドリルパーク」を活用する。

## 算数 課題は「割合」

- 成果が見られた点
- 課題が見られた点

- 基本的四則計算や文章題から必要な情報を読み取り立式する。 【数と計算】
- 表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、数を求める。 【データの活用】
- 二つの数の最小公倍数を求める。 【数と計算】
- 二つ数量から比例の関係にあることを用いて、未知の数量を求める。日常生活の場面に即して、数量が変わっても割合が変わらない場合があることを理解する。 【変化と関係】
- 図形を構成する要素に着目し、平行四辺形を判断する。 【図形】

## ↓ 今後の方策

- ◎『整数の性質』について反復練習を継続する。
  - ・「倍数・公倍数・最小公倍数」「約数・公約数・最大公約数」の性質について再確認する。
  - ・「偶数・奇数、倍数・約数」などの基礎となるかけ算・わり算を習得させる。
- ◎割合や百分率の意味と表し方、比較量や基準量と割合との関係を復習させ、日常生活での活用の仕方を考えさせる。

- ◎「ドリルパーク」の活用（朝学習・習熟学習）
  - ・各学年の学力検査や学力状況調査の結果から、課題となっている内容を中心にデジタル教材「ドリルパーク」やプリントを効果的に活用し、課題の克服に努める。
- ◎少人数指導・TT授業での個に応じた指導
  - ・少人数加配教諭や学習指導員による、個別での指導の充実に努める。

## 理科 課題は「思考力・判断力・表現力」

- 成果が見られた点
- 課題が見られた点

- 昆虫の育ち方と主な食べ物の特徴がわかる。 【生命を柱とする領域】
- 実験器具がわかり、正しい扱い方が身についている。 【粒子を柱とする領域】
- 日光が直進することがわかる。 【エネルギーを柱とする領域】
- 水滴と水の粒は何か変化したものか記述することができる。 【地球を柱とする領域】

## ↓ 今後の方策

- ◎『自分の考えをもつ』活動を設定する。
- ◎観察・実験の内容、方法について丁寧に指導する。
- ◎授業で学習したことを野外で確認したり、自然体験や原理・法則の実感を伴った科学的な体験を重視したりして指導する。

## 学習と生活

- 全国平均より高かった項目
- 全国平均より低かった項目

- 「新聞を読んでいますか。」が「当てはまる・やや当てはまる」の児童の割合 【本校⇒19% 全国⇒13.8%】
- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」が「当てはまる・やや当てはまる」の児童の割合 【本校⇒92.8% 全国⇒80.1%】
- 「国語・算数の勉強が好きですか」が「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」の児童の割合 【本校⇒56% 全国⇒60.9%】

## ↓ 今後の方策

- ◎分かりやすく楽しい授業、勉強することが好きになるような授業を目指す。話し合い活動をより活性化させる。
- ◎読書を推進する活動、学年の学習教材のテーマに合わせた推薦図書展示等、読書環境を整えていく。